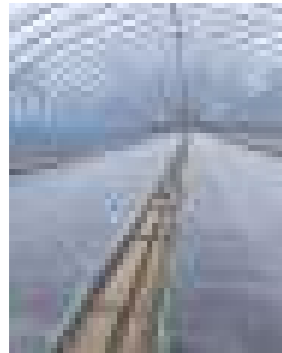


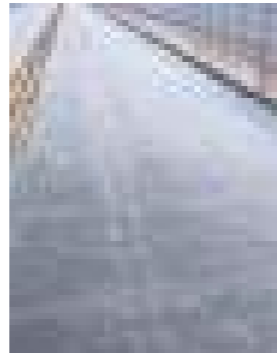
# 育苗ネットの効果確認試験



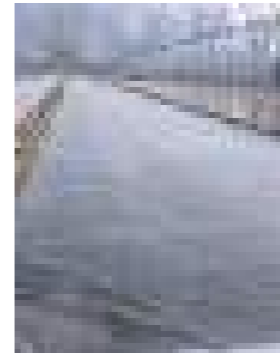
4月23日①



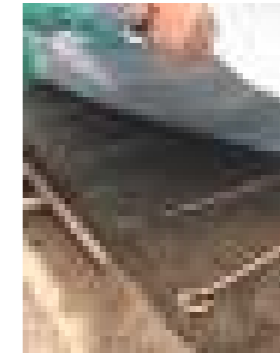
4月23日②



4月23日③



4月23日④



4月23日⑤現行

### 試験目的

シルバーポリウに代わる育苗ネットの効果確認

### 試験作物 及び品種

水稻

### 試験資材 及び数量(規格)

らくら育苗ネット(2.7m×50m) 2枚

### 慣行資材

シルバーポリウ

### 資材使用期間

4月18日～4月26日

### 試験結果

#### (1)作業性について(慣行品との比較)

展張作業は楽である。シルバーポリウであれば水を含んだ状態でかけることもあるので重く感じるが、ネットなので断然軽くなる。

#### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

昼間の温度は変わらないが夜間温度が気になる。

#### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：展張が楽なこと。

【問題点】：夜温が下がること。水をかける頻度が増えること。

#### (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

シルバーポリウは2年～3年で交換するがネットなので耐久性はあると思う。

#### (5)促成・抑制効果について

少し慣行と比べて遅くなる傾向にある。

#### (6)保温効果について

夜間温度が約2℃ほど低くなる。

### モニター感想

温度データを農協でとったがやはり夜温が低い印象。そのため、少し生育が遅れると感じた。

水の管理を大きく変える必要があり、戸惑いがあった。手灌水の人は非常に面倒になると思われる。

#### JA担当者の感想(生産資材課 本間担当、木村担当)

べたがけした状態で水をかけられることや、シルバーポリウと比べ軽いので、作業性が軽減されたと感じた。

今回、試験資材内の気温データも計測したが、夜温が低く、保温性の面で慣行区と若干の生育差はあったもののシルバーポリウの代替品として問題なく取り進めできると感じた。

作業性というメリットを十分に押し出し、今後の推進や取りまとめに繋げていきたい。

### 今後の使用について

改良して欲しい。